



物流と人のハーモニー  
**TRANCY**

# 第 102 期 報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日



日本トランスシティ株式会社

証券コード：9310



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、当社グループの第102期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。  
当社グループは、創業以来、「事業を通じて社会に貢献すること」を使命とし、企業の社会的責任（CSR）を果たすとともに、企業価値の向上と企業の持続的な発展を目指し、事業活動に取り組んでおります。  
今後とも当社グループ一丸となり、お客さまに最高のサービスを提供し、社業の発展と経営の強化に邁進することにより、株主の皆さまのご期待に応えてまいりたい所存でございます。  
株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月29日

取締役社長 小川謙

## 人と人を結び、都市と都市をつなぎ、新しい夢と文化を育む 日本トランスシティグループ

### 企業理念

#### 事業領域

- グローバルな視点から、システムティックな物流と新たな活動分野を創造する

#### 社会的役割

- 地域とともに生き、広く社会の発展に貢献する

#### 企業文化・風土

- 人間性豊かな、高感度・行動型集団を目指す

## 次代を目指すトータルロジスティクスサービス

国内倉庫管理システムや国際情報システム等を活用して海外から国内までの一貫したサプライチェーンの可視化を実現します。

お客様の商品の特性に合わせた保管荷役と在庫管理情報の提供等を行うとともに、お客様に最適な物流戦略拠点を提供します。

検品、ラベル貼付など、多様な物流加工サービスを提供し、お客様のSCMを総合的にサポートします。



### ■ 海外ネットワーク

#### ドイツ

デュッセルドルフ

#### チェコ

プラハ

#### アメリカ

エルパソ、メアリスビル、シンシナティ、レキシントン、サンアントニオ

#### メキシコ

アグアスカリエンテス

#### 中国

大連、青島、上海、深圳、香港

#### フィリピン

マニラ

#### ベトナム

ハノイ、ホーチミン

#### カンボジア

プノンペン

#### ミャンマー

ヤンゴン

#### タイ

バンコク、レムチャバン

#### マレーシア

クアラルンプール、クアタム

#### インドネシア

ジャカルタ、スラバヤ

# 株主の皆さまへ

## 営業概況（連結）

当期における当社グループの営業概況につきましては、総合物流事業において、倉庫業では、期中平均保管残高および貨物入出庫数量は前期に比べ増加しましたが、物流加工の取扱量は減少しました。港湾運送業では、四日市港における海上コンテナの取扱量は減少し、輸入原料につきましても全般的に減少するなど、低調に推移しました。陸上運送業では、主力のトラック輸送ならびに鉄道輸送の取扱量は前期に比べ減少しましたが、バルクコンテナ輸送の取扱量は増加しました。国際複合輸送業では、海上輸送につきましては、輸出が増加したものの、輸入は減少し、航空輸送の取扱件数も減少しました。

その他の事業におきましては、前期に引き続き、効

率化や収支改善に努めてまいりました。

以上の結果、当期の連結売上高は、港湾運送事業にかかる輸出入の取扱量が減少したことに加え、国内の荷動きの停滞により、陸上運送業の取扱量が減少したものの、連結子会社の増加、海外における国際複合輸送業の堅調な取扱いなどにより、前期比0.8%増の932億1千7百万円となりました。連結経常利益は、海外子会社の寄与に加え、退職給付信託一部解約による退職給付費用ならびに会計方針の変更に伴う減価償却費の減少などにより、前期比11.2%増の45億7百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比6.2%増の29億6千4百万円となりました。

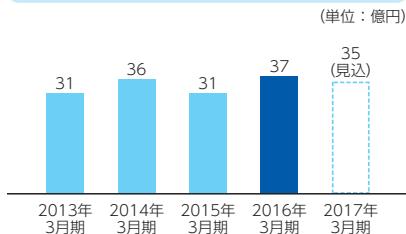
### ■ 売上高

**932億円** (前期比0.8%増)



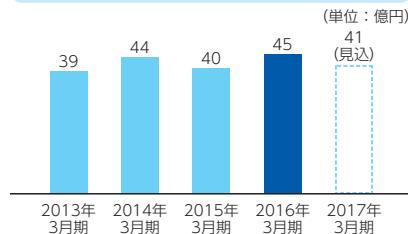
### ■ 営業利益

**37億円** (前期比21.7%増)



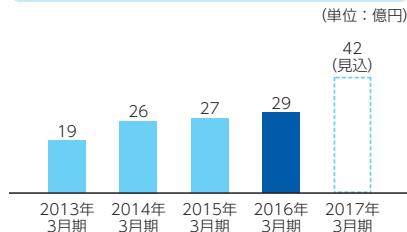
### ■ 経常利益

**45億円** (前期比11.2%増)

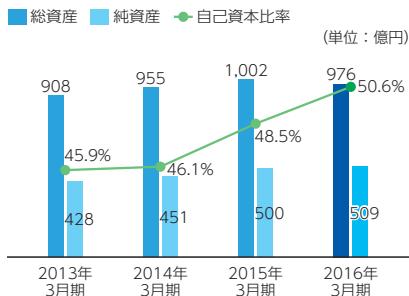


### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

**29億円** (前期比6.2%増)



### ■ 総資産・純資産・自己資本比率



### ■ 2017年3月期予想

売上高	950億円
営業利益	35億円
経常利益	41億円
親会社株主に帰属する当期純利益	42億円

## 今後の課題

当社グループでは、様々な事業環境の変化に対応するため、「中期経営計画」に掲げる、スローガン『「Challenge to the New Stage」－挑戦－』、基本方針「新しい価値を創造する企業に生まれ変わり、スピード感のある革新的ソリューションで、国内外のロジスティクス事業を拡充する」に基づき、様々な施策を実施してまいります。特に、国内ロジスティクス事業の強化策として、枚方営業所（大阪府枚方市）の倉庫増設、霞北埠頭流通センター（三重県四日市市）の建設、幸手物流センター（埼玉県幸手市）の建設を進めてまいります。また、グループ経営基盤の強化策として、新たに取得したAEO通関業者制度を活用し、法令遵守に基づいた信頼性の高い貨物管理と通関・輸出入サービスを提供してまいります。さらに、グループ一体となった高い倫理観を醸成するため、昨年策定した「グループ企業倫理要綱」を浸透させ、更なるガバナンスの強化を図ってまいります。

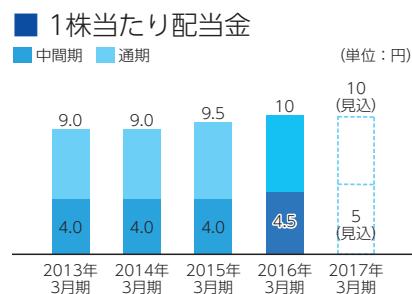
## 配当について

当社は、安定的な配当を基本とし、今後の経営環境の変化を踏まえ、財務体質の強化にも配慮しつつ、長期的・総合的な視野に基づく配当を実施したいと考えております。

当期の配当金につきましては、1株につき4円50銭の中間配当を実施しておりますが、当期末の配当金は、当初の予想より50銭増配の1株につき5円50銭とさせていただきます。

これにより、当期の年間配当金は1株につき10円（前期9円50銭）となります。

今後も経営環境等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施してまいります。



## 日本トランスシティグループ 中期経営計画

### 「Challenge to the New Stage」－挑戦－

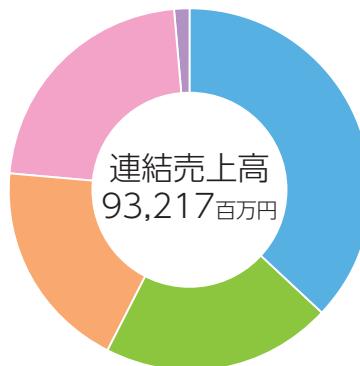
新しい価値を創造する企業に生まれ変わり、スピード感のある革新的ソリューションで、国内外のロジスティクス事業を拡充する

#### 経営戦略

- 国内ロジスティクス事業の改革
- グローバルロジスティクス事業の拡充
- グループ経営基盤の強化
- CSR経営を重視し、地域社会の発展に貢献する

# セグメント別営業概況

倉庫業	37.1%
港湾運送業	20.6%
陸上運送業	18.8%
国際複合輸送業・その他	22.3%
その他の事業	1.2%



## 倉庫業

売上高 **346**億円

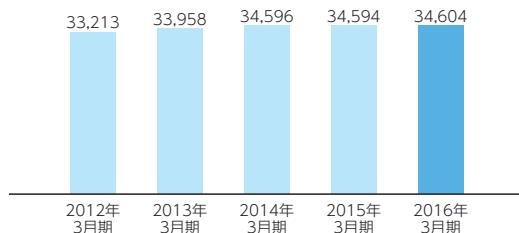
当部門におきましては、期中平均保管残高は前期比1.1%増の46万6千トンと増加し、期中貨物入出庫トン数につきましても、前期比4.8%増の666万9千トンとなり、保管貨物回転率は59.6%（前期57.5%）と改善しました。

以上の結果、当部門の売上高は、前期とほぼ同額の346億4百万円の計上となりました。



### 売上高の推移

(単位：百万円)



## 港湾運送業

売上高 **191**億円

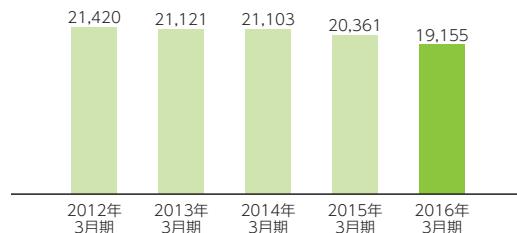
当部門におきましては、四日市港における海上コンテナの取扱量は、前期比2.0%減の19万9千本（20フィート換算）となり、完成自動車の取扱量につきましても、国内車、輸出車ともに減少しました。また、輸入原料の取扱量につきましても減少するなど、全般的に低調に推移しました。

以上の結果、当部門の売上高は、前期比5.9%減の191億5千5百万円の計上となりました。



### 売上高の推移

(単位：百万円)



## 陸上運送業

売上高 **175**億円

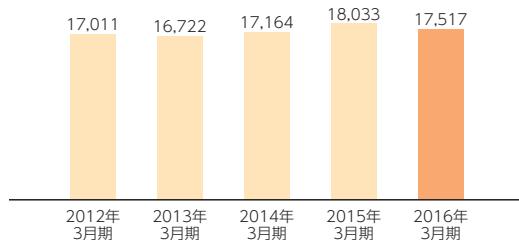
当部門におきましては、貨物自動車運送の取扱量は前期比1.7%減の718万8千トンとなり、通運貨物の取扱量も減少しましたが、バルクコンテナ輸送にかかる取扱量は前期比6.1%増の18万6千トンとなりました。

以上の結果、当部門の売上高は、前期比2.9%減の175億1千7百万円の計上となりました。



### 売上高の推移

(単位：百万円)



## 国際複合輸送業・その他

売上高 **207**億円

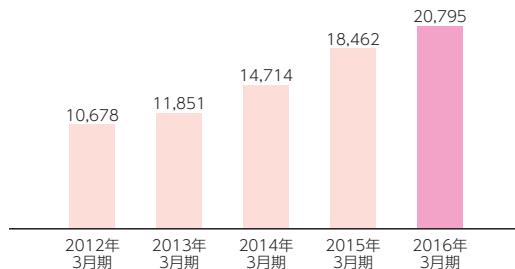
当部門におきましては、航空輸送における輸出入の取扱量は前期比9.4%増の2千991トンとなりましたが、海上輸送における輸出入の取扱量は前期比4.6%減の175万3千トンとなりました。

以上の結果、当部門の売上高は、連結子会社が増加したことにより、前期比12.6%増の207億9千5百万円の計上となりました。



### 売上高の推移

(単位：百万円)



## その他の事業

売上高 **11**億円

その他の事業におきましては、売上高は、前期比9.5%増の11億4千3百万円の計上となりました。

### 売上高の推移

(単位：百万円)



## 特集 国内拠点の拡充

当社グループでは、国内ロジスティクス事業を強化すべく、中期経営計画に掲げる投資計画（総額200億円）に基づき、物流施設の建設を進めております。

今回は、関東、関西、中部地区において、来年竣工予定の各施設につきまして、ご紹介いたします。

### <枚方営業所倉庫増設>



所在地：大阪府枚方市長尾峠町46番1号  
(当社枚方営業所敷地内)

倉庫延床面積：増設分 約14,700㎡ (約4,455坪)  
既存棟 約17,700㎡ (約5,365坪)  
合計 約32,400㎡ (約9,820坪)

投資総額：約20億円 (当社)

### <幸手物流センター建設>



所在地：埼玉県幸手市神扇721-1  
(圏央道 幸手IC隣接)

倉庫延床面積：約71,830㎡ (約21,765坪)  
投資総額：約140億円 (当社)

### <霞北埠頭流通センター建設>



所在地：三重県四日市市霞二丁目26-1  
(霞ヶ浦北ふ頭コンテナターミナル隣地)

倉庫延床面積：約39,700㎡ (約12,000坪)  
投資総額：約70億円 (霞北埠頭流通センター(株))

投資総額  
約**230**億円

大阪府  
枚方市

三重県  
四日市市

埼玉県  
幸手市

今後も、将来を見据え、最適な物流拠点を拡充し、高品質な物流サービスを提供し続けてまいります。

## CSRの取組み

当社グループのCSR活動につきまして、第102期の活動状況の一部をご紹介します。

### 社会・地域貢献

－地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでおります－

#### ■ クリーントランシィ（事業所周辺地域の清掃活動）の実施

当社グループでは、月1回、従業員が参加し、「クリーントランシィ」と称した事務所周辺地域の清掃を行っております。

1993年に本社（三重県四日市市）周辺から始まったこの活動は全国へ展開し、当期は年間延べ6,712人が参加するなど、積極的に地域の環境美化に努めております。



東京支店東松山営業所



大阪支店枚方営業所

#### ■ 四日市港施設見学の実施

これからの時代を担う若い世代に港の仕事に興味を持っていただくため、中学生を対象に港の施設紹介をしております。

当期は、三重県四日市市の中学生が参加し、ばら積み貨物（菜種、とうもろこし、小麦）の本船荷役作業、サイロ内を見学しました。



#### ■ 四日市市消防団「海上分団」の活動

当社グループ員で構成する市の消防団「海上分団」は、本社を置く四日市港周辺の消防活動にあたっており、当期は14回出動し、消火活動を行いました。

また、四日市市消防操法大会、出初式への参加や救命講習の講師を務めるなど、日頃から消防技術の向上にも励んでおります。



## 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2015年3月31日現在	当期末 2016年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	28,055	26,808
固定資産	72,147	70,879
有形固定資産	51,083	51,275
無形固定資産	1,088	1,202
投資その他の資産	19,974	18,402
資産合計	100,203	97,687
<b>負債の部</b>		
流動負債	23,284	17,846
固定負債	26,842	28,849
負債合計	50,127	46,695
<b>純資産の部</b>		
株主資本	46,825	49,305
資本金	8,428	8,428
資本剰余金	6,732	6,750
利益剰余金	32,771	35,324
自己株式	△ 1,107	△ 1,198
その他の包括利益累計額	1,767	113
非支配株主持分	1,483	1,573
純資産合計	50,076	50,992
負債純資産合計	100,203	97,687

## 連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当期 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	92,496	93,217
売上原価	83,848	83,850
売上総利益	8,647	9,367
販売費及び一般管理費	5,541	5,585
営業利益	3,106	3,782
営業外収益	1,238	953
営業外費用	291	229
経常利益	4,053	4,507
特別利益	20	84
特別損失	24	38
税金等調整前当期純利益	4,050	4,552
法人税、住民税及び事業税	1,043	1,308
法人税等調整額	98	100
当期純利益	2,908	3,144
非支配株主に帰属する当期純利益	118	179
親会社株主に帰属する当期純利益	2,789	2,964

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前期 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当期 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,168	5,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,129	△ 2,096
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,305	△ 4,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	271	△ 46
現金及び現金同等物の増減額	△ 995	△ 1,249
現金及び現金同等物の期首残高	12,648	11,652
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	256
現金及び現金同等物の期末残高	11,652	10,659

### Point 売上高

売上高は過去最高となり、6期連続の増収となりました。

# 個別財務諸表の概要

## 個別貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2015年3月31日現在	2016年3月31日現在
流動資産	24,034	21,835
固定資産	59,284	59,170
有形固定資産	42,583	42,837
無形固定資産	970	1,112
投資その他の資産	15,730	15,219
資産合計	83,319	81,005
流動負債	25,084	19,424
固定負債	22,120	24,832
負債合計	47,205	44,257
純資産合計	36,113	36,748
負債純資産合計	83,319	81,005

## 個別損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	(2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	(2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	81,362	79,379
売上原価	75,597	73,341
売上総利益	5,765	6,038
販売費及び一般管理費	3,875	3,774
営業利益	1,890	2,263
営業外収益	1,036	807
営業外費用	251	223
経常利益	2,675	2,847
特別利益	4	44
特別損失	16	25
税引前当期純利益	2,663	2,865
法人税、住民税及び事業税	638	792
法人税等調整額	64	65
当期純利益	1,960	2,007

# 会社の概要 (2016年3月31日現在)

社名 日本トランスシティ株式会社  
 英文社名 Japan Transcity Corporation  
 創業 1895年(明治28年) 7月12日  
 設立 1942年(昭和17年) 12月28日  
 資本金 8,428,059,616円  
 上場取引所 東京(第一部)、名古屋(第一部)  
 証券コード 9310  
 従業員数 2,184名(連結) 718名(単体)

## 事業目的

1. 倉庫業
2. 港湾運送業
3. 貨物自動車運送業
4. 貨物利用運送業及び代理業
5. 国際複合一貫輸送業及び代理業
6. 通関業
7. 医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器の包装、表示及び保管業
8. 発電及び電気の供給に関する事業
9. 不動産の売買、賃貸借及び管理業
10. スポーツ施設の経営
11. 自動車整備業
12. その他

## 役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役会長	小林 長久	取締役	豊田 長康
代表取締役社長	小川 謙	取締役	武内 彦司
専務取締役	北川 譲治	監査役(常勤)	須田 英一
専務取締役	平野 理	監査役(常勤)	伊藤 久弥
専務取締役	平子 隆生	監査役	綿貫 繁夫
専務取締役	横山 修一	監査役	永田 昭夫
常務取締役	山下 潤	監査役	油家 正
常務取締役	岡村 光喜		
取締役	小菅 能正		
取締役	安藤 仁		
取締役	小森 信弥		
取締役	森 恒夫		
取締役	後藤 孝富		

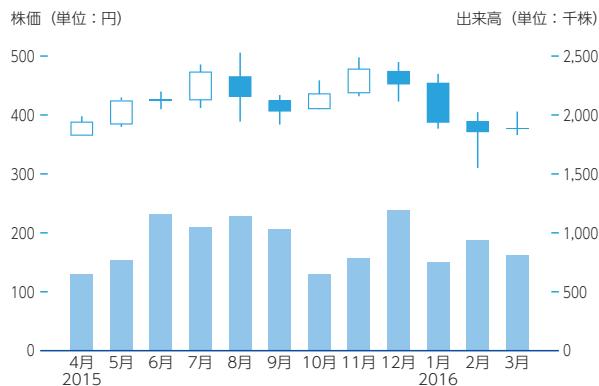
\*取締役 豊田長康、取締役 武内彦司の両氏は社外取締役であります。  
 \*監査役 須田英一、監査役 綿貫繁夫、監査役 永田昭夫、監査役 油家正の4氏は社外監査役であります。

# 株式の概要 (2016年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	67,142,417株
株主数	3,738名

### 株価・出来高の推移



## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	4,000	6.2
東京海上日動火災保険株式会社	3,564	5.6
日本トランスシティ社員持株会	3,398	5.3
蒼栄会	3,381	5.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,843	4.4
株式会社百五銀行	2,683	4.2
株式会社三重銀行	2,668	4.2
株式会社みずほ銀行	1,848	2.9
ビービーエイチポストノフォーラムラジャパン	1,698	2.6
スモーカーキャピタルイノベーションファンド620065	1,698	2.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,501	2.3

\*持株比率は、自己株式(3,031,834株)を控除して計算しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しておりますのでご利用ください。

<http://www.trancy.co.jp>

## 株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

告 告 の 方 法 電子公告により行います。  
公告掲載URL <http://www.trancy.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【ご注意】

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒510-8651 三重県四日市市千歳町6番地の6  
TEL 059-353-5211  
ホームページ <http://www.trancy.co.jp>

### (見直しに関する記述等についてのご注意)

この報告書に記載されている業績予想や将来に関する記述等は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき合理的であると判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により見直しと大きく異なる可能性があります。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

